

1. 子育て家庭を支援するための環境づくり								
(1) 教育・保育サービスの充実								
No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
1	通常保育事業の推進	入所定員：1,990人 受入可能数：2,388人	入所定員：1,958人 受入可能数：2,349人	こども育成課		入所定員：2,208人 受入可能数：2,401人	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかを含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施
2	延長保育事業の推進	実施園：28園	実施園：28園	こども育成課		実施園：36園	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかを含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施
3	休日保育事業の推進	実施園：2園 定員数：30人	実施園：2園	こども育成課		実施園：2園 定員数：30人	受入体制の課題解決に向けた取り組みの検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施
4	夜間保育事業の推進	実施園：1園 定員数：30人	実施園：1園	こども育成課		実施園：1園 定員数：20人	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかを含めた検討が必要。	現在の施設数と定員を維持し、継続実施
5	保育所の整備	第1福ちゃん保育園増改築 認定こども園はるとり保育園増改築	継続実施	こども育成課		あいこう認定こども園の建替え（2/2年目）	計画的に整備を進めるべく、意向調査も含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施
6	乳児保育事業の推進	実施園：29園	実施園：29園	こども育成課		実施園：30園	多様な働き方に対応した保育ニーズの必要性があるかを含めた検討が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施
7	保育所職員に対する研修の推進	釧路市保育研修会：1回 291人参加	年1回実施	こども育成課		年2回実施 延べ408名参加	保育と教育の部分が充足できる研修の実施。	関係機関と協議しながら、継続実施
8	障がい児保育事業の推進	実施園：11園 受入人数：34人	実施園：11園	こども育成課		実施園：12園 受入人数：77人	特別な支援を必要とする児童に対する保育所等の支援体制の充実	実施園を拡大し、障がい児支援の充実を図る。
9	病児保育事業の実施	実施園：1園	実施園：1園	こども育成課		実施施設：2か所	利用しやすい環境づくりの検討。	関係機関と協議しながら、継続実施
10	認定こども園の普及推進	情報提供実施 認定こども園への移行数：6園	継続実施	こども育成課		情報提供実施 認定こども園への移行数：2園	移行希望施設への情報提供と、利用定員の適正な設定	継続実施
11	認可保育所、幼稚園、認定こども園と小学校の連携	小学校へのなどらかな接続のための連携 （園児の小学校見学・引継ぎシートの活用）	継続実施	こども育成課 学校指導課		小学校へのなどらかな接続のための連携。 （園児の小学校見学・引継ぎシートの活用）	引継ぎシートの活用について、教育委員会と引き続き連携が必要。	関係機関と協議しながら、継続実施
(2) 地域における子育て支援の充実								
12	乳幼児訪問指導の実施	訪問数：延べ1,428人	継続実施	健康推進課		訪問数：延べ894人	家庭への訪問の他、同伴受診等を実施するとともに必要に応じ、関係機関へ繋げている。	継続実施
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	実施箇所：1箇所 3月末登録会員数：1,226人 ひとり親家庭の優先利用	実施箇所：1箇所	こども育成課		実施箇所：1箇所 3月末登録会員数：1,100人	利用を希望する家庭が利用できるよう、提供会員の確保に努める。	継続実施
14	就学援助費の支給	支給人員：2,513人	継続実施	学校教育課		支給人員：1,628人	申請もれにより制度がうけられないことがないように周知を行う。	継続実施
15	児童館の運営	21館	21館	こども育成課		21館	施設の老朽化や人口減少に応じた効率的な運営について検討し、他の公共施設との集約化・多機能化を検討するとともに、適切な維持管理に努め、長寿命化を図っていく必要がある。	
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	ショートステイ：27件/87日 トワイライトステイ：13件/21日	継続実施	こども支援課		ショートステイ：152件/516日 トワイライトステイ：6件/12日	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施
17	一時預かり事業の推進	実施園：7園 総定員数：96人	実施園：7園	こども育成課		実施園：8園	多様化する保育ニーズの動向を注視する必要がある。	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
18	つどいの広場事業の推進	4,449人	継続実施	こども育成課		4,062人	利用者の増加に向けた施策の実施	継続実施
19	家庭児童相談等の充実	家庭児童相談：463件【件数誤り 正:10件】 母子相談：1,721件 父子相談：112件	継続実施	こども支援課		家庭児童相談：12件 母子相談：1,289件 父子相談：92件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関とのさらなる情報共有を図りながら継続実施
20	地域子育て支援拠点事業の推進	実施箇所：6箇所	実施箇所：6箇所	こども育成課		実施箇所：6箇所	利用者の増加に向けた施策の実施 関係機関との連携強化	子育て支援総合センターの開設による利用者の増と関係機関とのさらなる連携強化
21	認可保育所、幼稚園、認定こども園における地域交流の推進	町内会、老人クラブ等との交流	継続実施	こども育成課		実施	地域の実情にあわせてつづ、途絶えることなく交流を継続する。	継続実施
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	ガイドブック発行：2,000部	継続実施	こども支援課		ガイドブック発行：1,800部	関係各所と連携し、正確な情報を掲載できるよう努める。	継続実施
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	なし （令和元年度より実施・令和2年度より拡充）	実施箇所：4箇所	こども育成課 健康推進課		実施箇所：4箇所	相談できる場の周知と相談内容に応じ、関係機関に繋げることで切れ目のない体制づくりが図られている	関係機関と協議しながら、継続実施
24	保育所の園開放の推進	週1回実施	週1回実施	こども育成課		実施箇所：4箇所	相談できる場の周知と相談内容に応じ、関係機関に繋げることで切れ目のない体制づくりが図られている	関係機関と協議しながら、継続実施
25	阿寒幼稚園、マリモ幼稚園開放事業の実施	阿寒幼稚園：9回/66人 マリモ幼稚園：6回/52人	阿寒幼稚園：年9回を継続 マリモ幼稚園：年6回を継続	阿寒保健福祉課		【認定こども園阿寒幼稚園】年30回/11人 【マリモ幼稚園】年33回/32人	【認定こども園阿寒幼稚園】 園開放日の実施を周知してきたが、園開放日に来たくなるような魅力ある発信には工夫が必要である 【マリモ幼稚園】 地域の子育て世帯の減少や共働き世帯の増加により利用家庭が減少している。そのため参加人数の確保が難しい。	継続実施
（3）子育て支援ネットワークの構築								
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	－	－	こども支援課	○	－	－	－
26	釧路市地域子育て力推進事業の実施（せわすき・せわやき隊）	子ども虐待防止講演会参加 代表者会議実施 オレンジリボン運動（オレンジリボン作成・オレンジリボン入りティッシュ配布）	継続実施	こども支援課		①通学路での見守り活動を実施。 ②おたがリボ運動の実施 ・おたがリボ着用品推進 ・PRフィッシュを各支所及び市立釧路総合病院、釧路赤十字病院等へ設置依頼 ・PRフィッシュ街頭配布（日時 11月1日 配布個数 800個） 場所 コープ貝塚店、スーパーアークス鳥取大通店 ・PRフィッシュ総配布個数 1,435個	参加者の確保。	事業廃止とする。 （児童虐待防止おたがリボ運動は児童虐待防止事業の一環として事業継続。）
27	どさんこ・子育て特典制度の推進	加盟店：68件	継続実施	こども育成課		加盟店：77件	道と連携し、制度の推進を図っていく。	継続実施
28	子ども会活動への支援	助成活動支援	継続実施	学校指導課 阿寒教育事務所		助成活動支援	少子化における活動の縮小	【釧路】継続実施 【阿寒】複数の町内会や関係団体との共催や事業連携を検討する。
（4）働きながら子育てしやすい環境の充実								
2	延長保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
3	休日保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
4	夜間保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
6	乳児保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	－	－	こども支援課	○	－	－	－
17	一時預かり事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	－	－	こども育成課 健康推進課	○	－	－	－
29	男女平等参画プランに基づき女性団体、他課との共催による啓発講座の開催	他課との共催によるDV防止講演会、男女平等参画センターとの共催によるセミナーや講演会、イベントの開催 合計8回 702人	継続実施	市民協働推進課		他課との共催によるDV防止講演会、市主催及び男女平等参画センターとの共催によるセミナーや講演会、イベントの開催 合計 13回 341人	男女平等参画プランに沿って、より効果的に事業に取り組むために、庁内関係課及び男女平等参画センターとの連携をさらに深めていく	継続実施
30	仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報提供	国等が作成したポスターやリーフレットを掲示するとともに、ホームページやFacebook、広報誌等に掲載	継続実施	商業労政課		国等が作成したポスターやリーフレットを掲示するとともに、ホームページやFacebook、広報誌等に掲載	積極的に情報収集を行い、より多くの情報を提供する。	今後も継続して周知する。
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	待機児童数 0人	待機児童数 0人	こども育成課		待機児童数 0人	希望する家庭の児童が利用できるよう、現在の環境を維持していく。	継続実施

2. 健やかに生み育てられる環境づくり

（1）安全・安心な母子保健医療等の充実

12	乳幼児訪問指導の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
32	母子健康手帳の交付及び妊産婦相談	手帳交付：962件 妊婦相談開催数：258回	継続実施	健康推進課		手帳交付：593件 妊婦相談開催数：262回	妊婦届時は全員と面談するとともに、個々の状況に応じた相談対応を行っている。	継続実施
33	妊婦健康診査の実施	妊婦健診受診票交付数：延べ13,536件 受診総数：延べ11,818件	継続実施	健康推進課		妊婦健診受診票交付数：8,227件 受診数：6,922件	令和5年8月から妊婦健康診査の助成額の増額、また超音波検査助成の開始、令和6年度からは産婦健康診査の一部助成を開始したことにより、より一層経済的負担の軽減となっている。	継続実施
34	乳幼児健診の実施	乳幼児健診を受診した人の割合 受診率の平均96.7% 4ヶ月児健診：99.0% 10ヶ月：93.4% 1歳6ヶ月児健診：99.6% 3歳児健診：95.1%	受診率の平均97.0%	健康推進課		乳幼児健診を受診した人の割合 受診率の平均96.0% 4ヶ月児健診：97.8% 10ヶ月児健診：90.8% 1歳6ヶ月児健診：96.4% 3歳児健診：98.8%	各健診において、一定数の未受診者は存在するが、家庭訪問等による未受診対策を実施し、状況把握に努めている。	継続実施
35	フッ素塗布の推進	塗布率：55.3%	塗布率：70%	健康推進課		塗布率：42.2%	対象を拡大して以後、塗布率の低下が見られる。 今後も健診等での制度周知の徹底を図る。	継続実施
36	歯科健診の実施	むし歯のない児の割合 1歳6か月児：96.5% 3歳児：79.9%	1歳6か月児のむし歯のない児の割合98.7% （H29全国平均）	健康推進課		むし歯のない児の割合 1歳6か月児：97.7% 3歳児：88.3%	一定数の「う歯」保有者は、年度により変動はあるものの、徐々に減少傾向である。	継続実施
37	子育て支援のための環境づくり	サークル支援・サークル室の利用：106回実施	継続実施	こども育成課		サークル支援・サークル室の利用：101回実施	母親の就労等により活発なサークル活動時期が短期化している	親子同士の交流が継続できるよう活動の周知と育成支援を継続。
38	子育て教室の実施	【釧路】子育て支援拠点センターにて4クール実施 【阿寒】わんぱく広場 開催回数：17回（停電により1回中止） 参加者数：延べ194名	【釧路】子育て支援拠点センター 開催回数：4クール（16講座） 【阿寒】わんぱく広場 開催回数：18回	こども育成課 阿寒保健福祉課		【釧路】子育て支援拠点センター、健康推進課ホール 開催回数：4クール（16講座） 参加者：641名 【阿寒】令和4年度に認定こども園阿寒幼稚園が開園し、未就園児の子育て支援事業が開始されたため、未就園児を対象としたわんぱく広場事業は令和3年度で終了。	【釧路】居住地域や交通手段によって参加機会に偏りが生じている	【釧路】R7年10月より子育て支援総合センターで実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
39	マタニティ講座の開催	日曜マタニティ講座 年6回：延べ238人 （定員（組）に対する参加割合99.2％）	継続実施	健康推進課		・年15回、延235人 マタニティ講座（集団開催）：6回、延230人 （個別対応）：9回、延5人 ・定員（組）に対する参加割合＝82.6％	参加希望者に対し、集団開催に限らず個別対応を行うことにより、柔軟に対応することができている。	継続実施
40	事故防止啓発事業の推進	発達に合わせた育児副読本を各種健診等で配付	継続実施	健康推進課		発達に合わせた育児副読本を各種健診等で配付	必要に応じ、事故予防について説明している。	継続実施
41	予防接種の実施	BCG：931人 四種混合：3,906人 不活化ポリオ：36人 麻疹・風しん：1,990人 二種混合2期：1,096人 ヒブ：3,859人 小児用肺炎球菌：3,866人 子宮頸がん：8人 日本脳炎：8,148人 水痘：1,806人 B型肝炎：2,871人	継続実施	健康推進課		BCG：616人 五種混合：1,716人 四種混合：854人 不活化ポリオ：0人 麻疹・風しん：1,484人 二種混合2期：754人 ヒブ：741人 小児用肺炎球菌：2,446人 子宮頸がん：2,698人 日本脳炎：3,496人 水痘：1,186人 B型肝炎：1,833人 ロタリックス：1,159人 ロタテック：13人	開業医の高齢化	継続実施
42	妊産婦訪問の実施	全戸訪問：実730件 養育支援訪問：実288件	継続実施	健康推進課		全戸訪問：実436件 養育支援訪問：実177件	訪問を希望しない家庭には、その他の母子保健事業や関係機関との連携の中でアプローチし、必要な支援に繋げている。	継続実施
43	育児相談の実施	6～7か月児育児相談：40回/延べ906人利用	継続実施	健康推進課		6～7か月児育児相談：33回/延べ607人利用	一定数の未受相者が存在する。	継続実施
44	未熟児養育医療費給付	給付対象者数：16人 給付金額：4,899千円	継続実施	医療年金課		給付対象者数：17人 給付金額：12,718千円	養育医療の対象となる乳児を把握し、対象者へ確実に給付を行えるよう、医療機関との連携を強化する必要がある。	継続実施
45	小児救急医療体制の充実	拠点病院1箇所	継続実施	健康推進課		実施病院2箇所 ・総合病院釧路赤十字病院 ・市立釧路総合病院	なし	継続実施
46	乳幼児に係る医療費の助成 R3.8～名称変更「子ども医療費助成」	助成対象者数：年11,925人 助成件数：104,520件 助成金額：190,495千円	継続実施	医療年金課		助成対象者数：年15,288人 助成件数：200,275件 助成金額：462,155千円	なし	継続実施
47	産後ケア事業の実施	なし （令和元年度より実施）	継続実施	健康推進課		1泊2日：87組 2泊3日：3組	令和4年度から対象及び実施機関を拡大し、また令和6年度から利用者負担金の減免を開始したことにより、利用数が大幅に増加した。	必要な対象者が利用しやすい体制整備として、令和7年度から産後ケア利用中の外出など開始。
(2)「食育」の推進								
48	魚食の普及及び啓発	【水産課】 地元魚介類を活用した料理教室・講座等の実施：計11回/延べ419人 【小学校】 5種18回実施：さんま5、さば3、たら1、ししゃも1、昆布8回 【中学校】 8種27回実施：さんま3、さば4、たら2、ししゃも1、鮭3、いか3、いわし4、昆布7回	継続実施	水産課 学校教育課		【水産課】 地元魚介類を活用した料理教室・講座等の実施計23回 延べ585名 【小学校】 6種18回実施：さんま2、さば2、たら1、鮭3、いわし4、昆布6回 【中学校】 5種17回実施：さば1、たら3、鮭3、いわし1、昆布9回	【水産課】 ・講師の確保 ・魚種の偏り 【学校教育課】 釧路産の魚を積極的に使用したいが、漁獲量の減少により、提供に十分な量の確保が難しいことや価格の高騰により、限られた給食費の中でどう提供していくかが課題である。	【水産課】 料理教室や講座等の内容の充実化 【学校教育課】 ふるさと釧路の食の豊かさを再認識してもらうため、今後も釧路産の魚介類を使用した給食を提供する。
49	幼児食育教室の開催	5回実施：88組	5回実施	こども育成課		5回実施：270人（食育事業）	園児が調理を体験する等、事業内容について検討する。	年4回（公立保育園・認定こども園各1回ずつ）継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
50	食育事業の推進	【教育総務課（旧：学校給食課）】 試食会実施回数：小学校/23回・中学校/9回 【こども育成課】 ・認可保育所、認定こども園で食育指導の実施 ・保護者向け給食試食会と食育講話の実施 ・地産地消の日の実施：27園 【農林課】 JA及びよつ葉乳業協力のもと、小学生を対象に地元食材を用いた調理実習の実施：5校 【阿寒】 市立幼稚園で食育指導の実施	継続実施	学校教育課 こども育成課 農林課 阿寒保健福祉課		【学校教育課】 試食会実施回数：小学校/4回・中学校/6回 【こども育成課】 ・認可保育所、認定こども園で食育指導の実施：5回 ・保護者向け給食試食会と食育講話の実施：5回 ・地産地消の日の実施：5回 【農林課】 ・市内幼稚園や保育園において、牛乳に関する食育授業を実施：1園 【認定こども園阿寒幼稚園】 保護者による三大栄養素についての講話：1回 調理体験を含む食育活動：年9回 保護者向けの給食試食会：年4回 食育を取り上げた園東りの発行：1回 【マリモ幼稚園】：食育指導の実施：年10回	【学校教育課】 家庭における望ましい食習慣の定着が図られるよう、学校と家庭が一体となった食育の推進を図る必要があるため、継続していく。 【こども育成課】 現代の園児が抱える課題に適応した内容の検討。 【農林課】 酪農業・牛乳への親近感の醸成、信頼感の向上 【認定こども園阿寒幼稚園】 保護者にも食育に興味関心を抱いてもらえるよう、栄養士による講話や調理体験を含む食育活動を工夫する必要がある。 【マリモ幼稚園】：食育活動に偏りがあり、食べ物の栄養や健康の大切さを伝える内容が不足していた。	【学校教育課】 家庭における食に対する関心及び理解を深め、望ましい食習慣が形成されるよう、今後も試食会を実施し意識啓発に取り組む。 【こども育成課・農林課】 継続実施 【認定こども園阿寒幼稚園】：多様な食育事業が実施できるよう情報を集める。 【マリモ幼稚園】：栄養や健康の大切さを伝える活動内容を計画的に実施する。
51	親子の料理教室	開催回数：2回 参加数：延べ14組	継続実施	音別保健福祉課		開催回数：1回 参加数：2組（6名）	児童数の減少に伴い参加する親子も減少傾向にある。	継続実施
52	地場産品普及促進事業の展開	・各学校に対し、エソシカ肉、オロナミンC、根釧牛乳等地場産品を題材にした出前授業の実施 ・こども育成課に対する認可保育所、認定こども園での「ふるさと給食」実施に係る食材の情報提供	継続実施	産業推進室		・各小学校に対し、エソシカ肉、オロナミンC、根釧牛乳等地場産品を題材にした出前授業の実施	生産者や企業と消費者を繋ぐ継続した取組が必要である。	「地場産品を買ってもらう取組」と「消費者と企業を繋ぐ取組」を継続して進めていく。
（3）学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実								
53	リーフレットの作成・配布	辞典722冊配付 リーフレット(高校生用)：1,656枚配布 リーフレット(中学生用)：1,499枚配布	継続実施	健康推進課		【配布】 リーフレット（高校生用）：1,637枚配布 リーフレット（中学生用）：1,619枚配布 リーフレット（特別支援学校用）：51枚配布 【作成】 リーフレット（高校生用）：4,000枚作成	内容について、関係者と様々な角度から見直しを行う作業を引き続き行う。	継続実施
54	高校生ライフデザイン講座の実施	10校：1,613人実施	全校実施	健康推進課		11校 11回：1,604人	梅毒の増加など、性をとりまく課題の変化に応じ、適切な情報提供について講師、学校関係者等との検討を引き続き行う。	継続実施
55	中学生思春期ライフデザイン講座の実施	17校 18回：1,527人実施	全校実施	健康推進課		16校 16回：1,142人	理解度や性に対する意識が様々である生徒に対し、効果的な指導内容について、学校関係者と連携し検討をすすめる。	継続実施
56	保護者・関係職種のための研修・学習会、ネットワーク会議などの開催	研修会3回：182人実施 会議1回：23人実施	会議1回	健康推進課		研修会 4回 277人 会議 1回 25人	関係者と協働しフレコンセプションケアについて研修会を開催し、課題共有を実施している。	継続実施
57	思春期相談	思春期相談ダイヤル：12件	継続実施	健康推進課		電話 3件 来所 2件	相談先は各校やリーフレット等を通じ、周知はできている。	継続実施
（4）結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の推進								
1	通常保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
2	延長保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
3	休日保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
4	夜間保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
5	保育所の整備	－	－	こども育成課	○	－	－	－
6	乳児保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
7	保育所職員に対する研修の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
8	障がい児保育事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
9	病児保育事業の実施	－	－	こども育成課	○	－	－	－
10	認定こども園の普及推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
12	乳幼児訪問指導の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
13	ファミリー・サポート・センター事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
14	就学援助費の支給	－	－	学校教育課	○	－	－	－
16	子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）の推進	－	－	こども支援課	○	－	－	－
17	一時預かり事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
18	つどいの広場事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
19	家庭児童相談等の充実	－	－	こども支援課	○	－	－	－
20	地域子育て支援拠点事業の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
21	認可保育所、幼稚園、認定こども園における地域交流の推進	－	－	こども育成課	○	－	－	－
22	子育て家庭支援ガイドブックの作成	－	－	こども支援課	○	－	－	－
23	子育て世代包括支援センター事業・利用者支援事業の実施	－	－	こども育成課 健康推進課	○	－	－	－
26	釧路市地域子育て力推進事業の実施（せわすき・せわやき隊）	－	－	こども支援課	○	－	－	－
30	仕事と子育ての両立のための広報・啓発・情報提供	－	－	商業労政課	○	－	－	－

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	－	－	こども育成課	○	－	－	－
32	母子健康手帳の交付及び妊産婦相談	－	－	健康推進課	○	－	－	－
33	妊婦健康診査の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
34	乳幼児健診の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
35	フッ素塗布の推進	－	－	健康推進課	○	－	－	－
36	歯科健診の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
37	子育て支援のための環境づくり	－	－	こども育成課	○	－	－	－
38	子育て教室の実施	－	－	こども育成課 児童保健福祉課	○	－	－	－
39	マタニティ講座の開催	－	－	健康推進課	○	－	－	－
40	事故防止啓発事業の推進	－	－	健康推進課	○	－	－	－
41	予防接種の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
42	妊産婦訪問の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
43	育児相談の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
44	未熟児養育医療費給付	－	－	医療年金課	○	－	－	－
46	乳幼児に係る医療費の助成 R3.8～名称変更「子ども医療費助成」	－	－	医療年金課	○	－	－	－
47	産後ケア事業の実施	－	－	健康推進課	○	－	－	－
58	E P F（エフ・ピー・エフ・アイ・フォー・エム・エス） 独身農業青年と釧路市及び管内町村在住女性との交流会	回数：3回 参加人数：延べ81人	継続実施	農林課		回数：2回 参加人数：延べ5人	参加意欲の向上	継続実施
59	特定不妊治療費助成事業の実施	55件	継続実施	健康推進課		令和4年度から不妊治療が保険適用となったため、特定不妊治療助成は令和4年度で事業終了	なし	なし
60	新婚世帯向け住宅の提供	なし （令和2年度より実施）	継続実施	住宅課		「新婚世帯向け住宅」を4戸提供したが、いずれも入居者はいなかった。	新婚世帯の公営住宅への入居ニーズは低い、経済的な負担の大きい新婚世帯の支援を行っている。	目標戸数の設定は行っていないが、ニーズに合わせ、子育て世帯向け住宅と募集を併用するなどの対応は必要である。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
61	中学生赤ちゃんふれあい体験学習の実施	【教育支援課輪番校】 実施回数：2回/1校/72人 【健康推進課協力校】 実施回数：2回/延べ100人 【音別】 実施回数：2回/延べ14人	継続実施	学校指導課 健康推進課 音別保健福祉課		【学校指導課輪番校】 実施回数：1回/1校/158人 【健康推進課協力校】 実施回数：5回/延べ418人 【音別保健福祉課】 実施回数：2回/延べ4人	【学校指導課】 なし 【健康推進課】 親子とのふれあいを通じ、将来の自分の家族形成について考える機会として、学校関係者等と内容の向上について引き続き検討を行う。 【音別保健福祉課】 出生数の減少により、協力していただける親子の選定（確保）について課題がある。	【学校指導課・健康推進課】 継続実施 【音別保健福祉課】 協力していただく親子の選定（確保）状況によっては、親子ふれあい体験の実施方法の見直しが必要。
62	高校生と幼稚園児のふれあい体験事業の実施	3回：計79人	継続実施	阿寒保健福祉課		【認定こども園阿寒幼稚園】：3回・86名 【マリモ幼稚園】：実施なし	なし	継続実施
3. 子どもの成長を支える環境づくり								
（１）子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備								
10	認定こども園の普及推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
11	認可保育所、幼稚園、認定こども園と小学校の連携	—	—	こども育成課 学校指導課	○	—	—	—
61	中学生赤ちゃんふれあい体験学習の実施	—	—	学校指導課 健康推進課 音別保健福祉課	○	—	—	—
62	高校生と幼稚園児のふれあい体験事業の実施	—	—	阿寒保健福祉課	○	—	—	—
63	教科等の年間指導計画の改善・充実（確かな学力の育成）	教科指導の作成率：100％ 学校訪問指導回数：154回	継続実施	学校指導課		教科指導の作成率：100％ 学校教育指導回数：160回	市教委研究指定校へのサポート体制の整備。	継続実施
64	教職員研修の支援（確かな学力の育成）	研修講座：1,483名	継続実施	学校指導課		研修講座参加人数：1,283名	学校教育における今日の課題や各学校が求める課題解決につながる教育内容や方法について講座を設定する。	継続実施
65	少人数指導等個に応じたきめ細かな指導の実施（確かな学力の育成）	加配措置を受け、 小学校26校のうち、20校で実施 中学校15校のうち、11校で実施	継続実施	学校指導課		小学校（義務教育学校前期課程含む）26校のうち、10校で実施 中学校（義務教育学校後期課程含む）15校のうち、11校で実施	なし	継続実施
66	体験学習事業の実施（確かな学力の育成）	遊学館サイエンスルーム事業 47クラス 1,376名	継続実施	生涯学習課		遊学館サイエンスルーム事業 27校 45クラス 1,084名	担当者間での研修・意見交換など指導者育成に要する労働時間の確保及び安定的な指導者の確保。	小学校からの要望が途絶えることがないようアンケート調査により教員の意見を授業に反映させ、より質の高い授業内容を提供することにより継続実施を目指す。
67	英語指導助手の活用（確かな学力の育成）	派遣回数小学校：391回 派遣回数中学校：324回	継続実施	学校指導課		派遣回数小学校：564回 派遣回数中学校：462回	なし	継続実施
68	学校適応指導教室の設置（豊かな心の育成）	通室児童・生徒：20人	継続実施	学校指導課		令和5年4月から「教育支援センター（まなびや）」に名称を変更 通室児童・生徒：43人	なし	継続実施
69	交流体験等の体験活動支援（豊かな心の育成）	1回実施：35人参加	継続実施	学校指導課		2回実施：36人参加	なし	継続実施
70	道徳の時間の確保（豊かな心の育成）	小・中学校実施率：100％	継続実施	学校指導課		小・中学校・義務教育学校実施率：100％	今後は授業改善等、質的な充実が課題。	継続実施
71	教育相談体制の充実（豊かな心の育成）	教育相談：112件 教育研究センター：46件 いじめカットライン：7件 ふれあい教室相談：48件	継続実施	学校指導課		教育相談：128件 いじめカットライン：9件	近年は、不登校に係る相談が増えており、これまでに以上に学校及び関係機関と連携した対応が必要である。	継続実施
72	いじめ問題対策	Q-Uテスト等実施率：100％ ネットモラル講座：150人参加	継続実施	学校指導課		Q-Uテスト等実施率：100％ 「情報モラル」に関する学習：全ての小・中学校、義務教育学校で実施 「外部講師を招いた携帯・スマホ教室（非行防止教室）」32校実施（うち11校は保護者も参加）	なし	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
73	ふるさと学習促進事業の推進 （豊かな心の育成）	くしろ子どもインターンシップ事業：参加者数65人	継続実施	学校指導課		くしろ子どもインターンシップ事業：参加者数32人	なし	継続実施
74	子どもチャレンジの実施 （豊かな心の育成）	4講座 5回 123人参加	継続実施	生涯学習課		4講座 5回 99人	実施参加者が少なく欠席者もいたことから、対策を検討する必要がある。 内容についても新しい取組を盛り込むなど充実を図るよう工夫する。	継続実施
75	職場体験の充実（豊かな心の育成）	中学校 15校実施	継続実施	学校指導課		31校実施 （小学校16校、中学校14校、義務教育学校1校）	なし	継続実施
76	体育の指導の充実（健やかな体の育成）	学校体力向上計画作成率100%	継続実施	学校指導課		学校体力向上計画作成率：100%	実効性のある取組を充実させることが必要。	継続実施
77	同好会、部活等の充実 （健やかな体の育成）	運動系同好会・少年団、部活動加入率 同好会・少年団：27.6% 部活動：51.2% 外部指導者登録者数：300人	継続実施	学校教育課 学校指導課		運動系同好会・少年団、部活動加入率 同好会・少年団：49.3% 部活動：39.6% 外部指導者登録者数：168人	競技人口の減少等に伴う合同チーム化による生徒指導、事故・怪我への学校での対応に加え、受け皿となりうる地域団体の模索、調整等の難しさがある。	地域の競技団体等との協力の下、引き続き土曜・日曜の部活動の地域移行に向けた取り組みを継続する。
78	コミュニティ・スクールの推進	小学校 導入率23.1% 中学校 導入率20.0%	小学校 導入率60.0% 中学校 導入率40.0%	学校指導課		小学校 導入率76.9% 中学校 導入率73.3%	コミュニティ・スクール制度の活動をより建設的にするためには、地域住民や学校が共通認識できる目標を自主的に見つけ、積極的な議論のもとにより多くの意見を反映させる必要がある。	継続実施
79	小学校と中学校の情報交換会の開催	校区内小学校との引継実施率：100%	継続実施	学校指導課		校区内小学校との引継実施率：100%	不登校、問題行動のある児童生徒の確実な引継ぎ。	継続実施
（2）子どもの健全育成の推進								
15	児童館の運営	—	—	こども育成課	○	—	—	—
31	放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の実施	—	—	こども育成課	○	—	—	—
80	子供交流館等の運営	延べ利用児童数：2,927人	継続実施	阿寒保健福祉課		延べ利用児童数：553人（前年比△492人）	地域の子どもの減少による利用児童の減。また、1名欠員となっている職員の確保。	未就園児親子が利用しやすい工夫と、利用児童の安全・安心に留意した取り組みを継続する。
81	放課後子ども広場の運営	延べ利用児童者数：2,404人 （うち、土曜日の延べ利用児童者数35人）	継続実施	音別保健福祉課		延べ利用児童者数：3,447人 （うち、土曜日の延べ利用児童者数0人）	児童数が減少傾向にあるが登録者数は横ばいである。 今後さらなる児童数の減少の場合は、利用者も減少する可能性がある。	継続実施
82	放課後子ども教室の運営	1箇所（興津小学校放課後チャレンジ教室）	継続実施	学校指導課		1箇所（興津小学校放課後チャレンジ教室）	事業を担うスタッフの人材確保が困難であることや、参加児童数の増加に向け、活動内容や体験活動を充実させる必要がある。	継続実施
83	青少年健全育成の啓発活動の実施（くしろの子ども大集合）	実施（全小中学校） 参加：596人（保護者・教職員含む。）	継続実施	学校指導課		釧路市内各中学校・義務教育学校及び北陽高等学校の生徒会代表が「釧路市の未来について～つくるうあたらしい釧路市を～」をテーマに、グループディスカッションを実施した	なし	今後も学校・家庭・地域が協働し、全市的な取組につなげていく。
84	青少年交流事業の実施	鹿兒島県出水市の鶴荘学園・高尾野中学校ツルクラブ釧路温泉研修により22人が来釧	継続実施	学校指導課		鹿兒島県出水市の鶴荘学園・高尾野中学校ツルクラブ釧路温泉研修により35人が来釧	なし	継続実施
85	「少年の主張」釧路市大会の実施	開催回数：1回	継続実施	学校指導課		令和6年6月1日実施	なし	継続実施
86	ジュニアリーダー養成研修等の実施	開催回数：7回	継続実施	阿寒教育事務所		4回開催/28人参加	少子化による参加者の減少	関係団体との共催や事業連携により内容の充実や周知の強化を図る。
87	遊び体験事業の実施	・伝承遊び：312回/952人 ・工作遊び：588回/10,400人 ・遊びんピック 10月（3日間）/4,053人	継続実施	生涯学習課		・伝承遊び：315回/1,359人 ・工作遊び：601回/7,880人 ・遊びんピック 10月（3日間）/926人	いつまでも新鮮な気持ちで遊び・学びが提供できるイベント数及び内容を確保するとともに、限られた人員配置の中でのイベントづくり。	幅広い層に遊び・学びが提供できるようボランティアを取り込みながらイベントの充実により継続実施を目指す。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
88	幼年消防クラブ活動の実施	21組織：1,271人	継続実施	消防本部予防課		19組織：1,223人	活動内容について、各組織で企画運営しており担当課として積極的に消防イベントの参加を促してはいない状況。	幼年消防クラブ参加の行事やイベントの企画。
89	少年消防クラブ活動の実施	3組織：428人	継続実施	消防本部予防課		3組織：205人	活動内容について、各組織で企画運営しており担当課として積極的に消防イベントの参加を促してはいない状況。	少年消防クラブ参加の行事やイベントの企画。
90	多様な体験活動の機会の充実	・博物館で遊ぼう：225人 ・夏休み親子土器作り教室：25人 ・化石クリーニング教室：20人 ・おそねえもちをつくろう：51人	継続実施	博物館		・博物館で遊ぼう：2,335人 ・壁穴住居で屋根ふき体験：34人 ・アイヌ刺繍体験講座「小さなアイヌ文様のタペストリー」：18人 ・サケ缶詰づくり：14人 ・クワガタムシの樹脂封入標本づくり：30人 ・ムックリ教室：27人 ・おそねえもちをつくろう2024：61人 ・ほすくまin博物館冬休みお手紙ファクトリー：220人 ・郵便と切手を楽しもう：128人 ・化石クリーニング教室2024：28人	ターゲットを絞った適切な周知方法、参加しやすい日程の設定等の再検討が必要。	市民ニーズの把握と周知方法の再検討、事業内容充実に努める。
91	ファイヤーティーチャー事業の実施	5校：224人	継続実施	消防本部予防課		2校：109人	ファイヤーティーチャー事業としての実施はなく、F育や防災体験学習といった類似の事業として実施している状況。今後これらの事業を整理し一本化していく必要がある。また、例年同じ学校が申込をする傾向にあるため、地域によっては実施されていない状況。	依頼が来てから実施するような受け身の体制ではなく、消防側から自発的に防火・防災教育の重要性を発信し、子供達が学習する機会を増やしていく。
92	まなぼっとわくわく体験隊の実施	実施回数 13回：30人参加	継続実施	生涯学習課		1講座11回 203人参加	ヒグマ出没による講座の中止があり、当初予定していた参加者の確保ができなかった	内容の変更や改善を図りつつ継続実施する
93	児童手当の支給	現況届提出率99.9% 受給者：10,116人	現況届提出率 100%	こども支援課		現況届提出率 100% 受給者：8,969名	必要としている世帯への多様な周知方法	継続実施
94	青少年健全育成事業の実施	【釧路】34小中学校区で各種取組を実施 【阿寒】親子陶芸教室、親子そば打ち体験教室の実施2教室：36人 【音別】啓発誌「水鏡」1回発行全戸配布・「夏・冬休みのきまり」2回発行全戸配布	継続実施	学校指導課 阿寒教育事務所 音別教育事務所		【釧路】32小中学校区で各種取組を実施 【阿寒】親子陶芸教室：3家庭12人 【音別】啓発誌「水鏡」1回発行全戸配布・「夏・冬休みのきまり」2回発行全戸配布	【釧路】なし 【阿寒】少子化による参加者の減少 【音別】学校と連携をとり、児童生徒への啓発活動を積極的にに行い、地域全体で見守る意識の高揚を図る。	関係団体や学校などが協力し、地域で子どもたちの心身の健やかな成長を図るため、継続して実施する。
95	芸術鑑賞会の実施	【阿寒】青少年芸術劇場（小学生対象）1回：169人鑑賞 【音別】1回開催：104人鑑賞	継続実施	阿寒教育事務所 音別教育事務所		青少年芸術劇場（小学生対象）1回開催：87人鑑賞 【音別】1回開催：79人鑑賞	学校の行事予定等に配慮した日程の調整	アンケートなどにより、児童・生徒の興味・関心が高まる題材を選定する。
96	親子自然ふれあいヤマベ放流事業の実施 R2.4～名称変更「自然ふれあい事業」	7/21開催：参加者34人（小学生14人・大人20人）	継続実施	音別教育事務所		7/27開催：参加者59人（こども27人・大人32人）	児童・生徒の減少により参加者数が減少傾向にある。	自然とのかかわり且つ魅力ある事業内容を検討していく。
97	こども読書活動推進事業の実施	・育成講座：2回/40人参加 ・学校ブックフェスティバル：2,350人参加 ・職員派遣：6回実施 ・読書活動サポートセット：5校 ・おはなし会等：274回/2,434人参加（釧路） 43回/290人参加（阿寒） 35回/278人参加（音別）	継続実施	生涯学習課 阿寒教育事務所 音別教育事務所		・育成講座：1回/9人参加 ・学校ブックフェスティバル：1,961人参加 ・職員派遣：13回実施 ・読書活動サポートセット：27校 ・おはなし会等：297回/1,857人参加（釧路） 22回/13人参加（阿寒） 29回/130人参加（音別） ・読書週間に合わせた事業等 くしろの読書週間（市内全域） こども読書週間等フェア開催（阿寒）：3回	児童生徒数の減少に伴い各種事業の参加者数減少や参加者の固定化が進んでいることから情報発信の方法に工夫が必要であるほか、子どもの読書活動を支える読み聞かせボランティアをはじめとした人材の育成、掘り起こしが課題となっている。	各所と連携した積極的な事業周知に取り組むとともに、読み聞かせ等の活動を行う人材の掘り起こしと育成に努めながら今後も継続して行う。
98	心の教育推進会議の開催	2回 （生徒指導推進協議会及び青少年問題協議会において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を実施）	継続実施	学校指導課		2回 （生徒指導推進協議会及び青少年問題協議会において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を実施）	なし	継続実施 年2回の各会議において、心の教育推進に係る、釧路市の子供たちの非行防止や不登校の問題等の改善に向けた協議を引き続き実施する。
99	社会を明るくする運動の推進	7/7街頭啓発実施：22団体/154人の参加	継続実施	学校指導課		7/13街頭啓発実施：11団体/123人の参加	なし	SNS等を活用した啓発活動を継続するとともに、集合形式の街頭啓発を、7月の連調月間直前の6月下旬に実施する。
100	補導巡視活動の実施	巡回実施数：645回 従事者数：延べ1,964人	継続実施	学校指導課 （青少年育成センター）		巡回実施数：518回 従事者数：延べ1,597人	補導員の確保	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
101	ファミリーサポート事業の実施	支援件数：6件 （新規6件・終了6件）	継続実施	学校指導課 （青少年育成センター）		支援件数：2件	なし	継続実施
102	町内巡視	【音別市民課】 徒歩巡視1回・車輻巡視 60回 【音別生涯学習課】 徒歩巡視 1回	継続実施	音別市民課 音別教育事務所		【音別市民課】 徒歩巡視0回・車輻巡視 116回 【音別教育事務所】 巡視予定のイベントが中止や日中開催となったことにより、未実施	なし	【音別市民課】 防犯の観点から、実施可否について協議により判断する。 【音別教育事務所】 啓発活動として今後も実施する。
103	有害環境浄化事業の実施	・コンビニエンスストア118店、書店6店、複合施設等13店舗への陳列方法等の点検と指導 ・携帯電話販売店31店に対するフィルタリングの推奨	継続実施	学校指導課 （青少年育成センター）		コンビニエンスストア96店、書店6店、複合施設等6店舗への陳列方法等の点検と指導	環境の健全化に伴う事業実施における効果の薄さ。	コンビニエンスストア等への有害図書類調査実施店舗数の縮小。
（3）家庭や地域の教育力の向上								
28	子ども会活動への支援	－	－	学校指導課 阿寒教育事務所	○	－	－	－
97	こども読書活動推進事業の実施	－	－	生涯学習課 阿寒教育事務所 音別教育事務所	○	－	－	－
104	あけぼのマミースクールの開催	24回開催：延べ135人参加	24回開催	こども支援課		12日開催：延べ50人参加	新たな利用者の確保。	継続実施
105	新入学児童子育て講話の実施	実施26校、受講者数1,095人 参加率91％	参加率：90％以上 （講話参加者数/新入学保護者数）	学校指導課		コロナ禍を経て、新入学児童保護者説明会での子育て講話に代わり、望ましい生活習慣の定着に向けたリーフレットの配布に切り替えた。	コロナ禍において、多くの保護者を一堂に会した講話等の実施が困難であったため、望ましい生活習慣に関するリーフレットの配布により啓発に努めてきた。リーフレットは目で訴えるものとして、講話とはまた違った効果が生まれ、保護者の子育て意識の向上に繋がっており、今後もリーフレットによる家庭教育支援を継続すべきと考えている。	望ましい生活習慣に関するリーフレットの配布により望ましい生活習慣の構築に向け、啓発を行う。
106	家庭教育講座の実施	家庭教育講座を開催している小中学校及び幼稚園保育所の割合 小19.2％ 中20.0％ 幼保37.7％	小50.0％ 中50.0％ 幼保50.0％	学校指導課		家庭教育講座を開催している小中学校及び幼稚園保育所の割合 小3.8％ 中0％ 幼保4.2％	なし	継続実施
107	学校支援ボランティア事業の充実	登録者数：800人	継続実施	学校指導課		登録者数：624人	なし	継続実施
108	子ども会等地域活動の機会の充実	公民館分館事業への活動助成支援	継続実施	阿寒教育事務所		公民館分館事業への活動助成支援	少子化による活動の停滞やマンネリ化	多世代交流など、地域文化やコミュニティが深まる事業の検討や助言を行う。
109	高齢者と子どもの交流イベントの開催	【介護高齢課】 実施回数4回：参加者1,337人 【阿寒保健福祉課】 実施回数1回：参加者67人	【介護高齢課】 実施回数 4回 【阿寒保健福祉課】 実施回数 1回	介護高齢課 阿寒保健福祉課		【介護高齢課】 実施回数3回：参加者654人 【阿寒保健福祉課】令和5年度より、地域の子育て世帯の減少により参加者が見込めないことから事業廃止。	老人クラブ会員数が減少しており、当該イベントの参加者数も減少傾向にある。	今後も継続実施していきたい。
110	スポーツ少年団の活動の支援	交流大会10種目 1,123人 【釧路】57団体 団員数：1,157人 【阿寒】1団体 団員数：89人 【音別】1団体 団員数：17人	継続実施	スポーツ課 阿寒教育事務所 音別教育事務所		交流大会8種目 915人 【釧路】49団体 団員数：860人 【阿寒】1団体 団員数：41人 【音別】1団体 団員数：29人	【釧路】 交流大会を開催できてはいるが、参加者となる子供の減少や指導者不足、日常での活動場所などの問題がある。 【阿寒・音別】 少子化やスポーツ離れによる団体数や団員数の減少、特に団体競技では団体の維持が難しくなってきている。	【釧路】 新規団立ち上げの積極的なサポートや、少年団以外の団体との連携体制を整え、子供達の活動の場を確保する。 【阿寒・音別】 スポーツ事業を通じて、地域としてのスポーツ少年団活動を活性化し、増加・育成につなげる。
111	スポーツ教室の開催	【釧路】13種目17教室：757人 【阿寒】4種目 6教室：1,235人 【音別】4種目 4教室：59人	継続実施	スポーツ課 阿寒教育事務所 音別教育事務所		【釧路】12種目18教室：1,265人 【阿寒】4種目 6教室：423人 【音別】4種目 4教室：10人 （参加申込者がない・天候不良等により3種目3教室を中止）	【釧路】 教室開催数が増えているが、受講者の定着率が教室ごとに差が大きく、開催できない月もある。 【阿寒・音別】 少子化やスポーツ離れにより参加者が減少し、教室の開催が難しくなってきている。	【釧路】 広報・チラシを使い、他の教室・イベントにてPR活動をおこなう。また、教室受講者へ新規教室の体験会等紹介など、スポーツ教室を知る機会の増加を図る。 【阿寒・音別】 学校や関係機関などと連携を図り、ニーズの把握に努め、事業内容の見直しを図る。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
112	自然体験活動の機会の提供	①こどもエコクラブの周知及び活動支援 ②釧路湿原こどもレンジャー2回実施（雨天中止1回）	①継続実施 ②釧路湿原こどもレンジャー：3回実施	環境保全課		①こどもエコクラブの周知及び活動支援 ③釧路湿原こどもレンジャー3回実施	①クラブ数の減少 ②参加人数の減少	①こどもエコクラブの周知に向けた取り組み。 ③継続実施
113	外部人材の活用等による教育活動の充実	小・中学校実施率 100%	継続実施	学校指導課		小・中学校実施率 100%	ふるさとキャリア教育ガイド「コネクト」のより一層の活用	継続実施
114	世代間交流の推進	9/30開催 参加者68人 （小学生19人・中学生2人・成人16人・老人21人）	継続実施	音別教育事務所		9/22開催 参加者21人 （小学生・中学生0人・成人12人・老人9人） 少年団等の行事と日程重複により、小中学生の参加が得られなかった。	依然としてシニア世代の活動が衰退傾向にある。 また、昨年度は参加団体の事業と日程が重複し参加者が減少の要因となったことから、事前の日程調整が必要である。	幅広い年齢層を対象とした事業のため、気軽に参加できるよう、周知方法や内容の充実を図れるよう工夫し、今後も事業を継続していく。
4. 子どもと子育て家庭にやさしい環境づくり								
(1) 安心して子育てできる生活環境の整備								
60	新婚世帯向け住宅の提供	—	—	住宅課	○	—	—	—
115	子育て世帯向け住宅の提供	特定目的住宅「子育て世帯向け住宅」の提供戸数：15戸 （累計：40戸）	提供戸数：累計100戸	住宅課		令和6年度末時点で「子育て世帯向け住宅」を101戸提供	令和6年度末までに提供開始時から累計で100戸提供することを目標としており、令和6年度11月の第2回公募でそれを達成することができた。しかし、さらなる子育て世帯への支援が必要ことから、令和11年度までの継続実施が必要。	令和11年度までに提供開始時から累計で150戸提供することを目標として取り組む。
116	生活道路の整備	道路 1,030,890m 歩道 946,953m	継続実施	道路河川課		道路 1,030,919m 歩道 951,160m	計画的に維持修繕、管理を行っていくこと。	今後も安全な道路交通環境の整備を実施する。
117	道路交通安全対策	街路灯：9,043基 道路標識：1,107箇所 誘導ブロック：360箇所 防護柵：38.17km カーブミラー：373本	継続実施	道路河川課		街路灯：8,700基 道路標識：1,103箇所 誘導ブロック：360箇所 防護柵：38.16km カーブミラー：380本	計画的に維持修繕、管理を行っていくこと。	今後も安全な道路交通環境の整備を実施する。
118	交通安全施設等整備促進	要望・相談等に基づく整備を適宜実施	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【音別】 町内の横断歩道9箇所の白線が薄くなり、見えにくくなっていることから、白線塗り直しの要望をしたもの。 R6中に7箇所の塗り直しが完了。残り2箇所については未定。	信号機や横断歩道、一時停止標識等の設置や改修の権限は公安委員会にあるため、要望が提出されても必ずしも設置や改修がなされるわけではない。また設置や改修が可能となっても道路改良等が必要となる場合もあるため実際の設置までには時間を要することとなる。	継続実施
119	通学路の安全確保	通学路安全対策連絡協議会 1回開催	継続実施	学校教育課		通学路安全対策連絡協議会 1回開催	なし	継続実施
120	妊娠初期を知らせるマタニティンボルの普及	母子手帳交付時、 マタニティステッカーなどの配付	継続実施	健康推進課		母子健康手帳交付時、 マタニティステッカーなどの配付	母子健康手帳交付時にマタニティステッカーなどを配付することにより、マタニティンボルの普及が図られている。	継続実施
121	街区公園をはじめとした都市公園等の環境整備	街区公園の継続整備：1箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：8箇所	街区公園の新規整備：3箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：40箇所	公園緑地課 阿寒建設課 音別建設課		街区公園の新規整備：3箇所 近隣公園の継続整備：1箇所 公園施設の改築更新：60箇所	十分な維持補修による安全確保と施設長寿命化。	計画に則った改築更新の実施。
122	防犯灯の整備	【釧路】 維持灯数：14,538灯（内LED灯：11,910灯） 【阿寒】 維持灯数：340灯（内LED灯：13灯） 【音別】 維持灯数：72灯（内LED灯：72灯）	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】 維持灯数：14,401灯（内LED灯：13,624灯） 【阿寒】 維持灯数：349灯（内LED灯：349灯） 【音別】 維持灯数：407灯（内LED灯：407灯）	LED灯の対応年数が10～15年と言われており、更新時期を迎えている。 補助対象団体のLED灯更新にかかる財政負担が大きいことから補助を継続して行う。	継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
（2）子どもを交通事故や犯罪等の被害から守る活動の推進								
123	交通安全教育の推進	【釧路】156回：14,527人参加 【阿寒】5回：310人参加 【音別】2回：32人参加	継続実施	市民生活課 阿寒市民課 音別市民課		【釧路】154回：13,040人 【阿寒】3回：115人参加 【音別】1回：33人参加	高齢者が関係する事故の割合は増加する傾向にあり、今後、子供が犠牲になる事故が増加する可能性も十分考えられるため、これまで以上に交通安全教育の重要性を周知する必要がある。	今後も継続して交通安全教育の推進を図っていく。
124	交通安全防犯大会	80人参加	継続実施	阿寒市民課		88人参加	大会の意義、目的に対する阿寒地区住民の意識が薄れてきており、今後、大会参加者は減少する可能性がある。	大会の開催の周知方法等を工夫し、今後も交通安全、防犯の啓発活動の一環として、継続して大会を開催する。
125	「こども110番の家」事業の推進	【釧路】 ○「こども110番の家」 ：連合町内会を通じたチラシの配付 ○「こども110番の店」（ステッカー掲示） ：807店舗・事業所への掲示、小中学校へのチラシ配付、広報くしろへの掲載 【音別】 「こども110番の家」登録：20箇所	継続実施	学校指導課 (青少年育成センター) 音別市民課		【釧路】 ○「こども110番の家」 ：連合町内会を通じたチラシの配付 ○「こども110番の店」（ステッカー掲示） ：745店舗・事業所への掲示、小中学校へのチラシ配付、広報くしろへの掲載 【音別】 「こども110番の家」登録：21箇所	登録箇所の確保。	継続実施
126	生活安全施策の推進	釧路市生活安全推進協議会開催	継続実施	市民生活課		釧路市生活安全推進協議会開催	地域での不審者の出沒、また、特殊詐欺の被害は後を絶たず、関係機関との情報共有と連携が必要である。	今後も継続して関係機関との情報共有・連携を図る。
127	防犯の広報啓発	毎月、地域安全ニュースと地域の駐在だよりを全戸に回覧し、啓発を実施	継続実施	阿寒市民課 音別市民課		【阿寒】 毎月1回（年12回） 【音別】 毎月、地域安全ニュースと地域の駐在だよりを全戸に回覧し、啓発を実施 防災無線による放送や、おんぼーと電光掲示板により、緊急的な注意喚起啓発を実施	地域安全、防犯の啓発活動の一環として、今後も継続して事業を行う必要がある。	継続実施
（3）被害に遭った子どもへの支援の推進								
71	教育相談体制の充実 （豊かな心の育成）	—	—	学校指導課	○	—	—	—
5. 配慮を要する子どもと家庭を支える環境づくり								
（1）児童虐待防止対策の充実								
128	釧路市家庭福祉推進連絡協議会(要保護児童対策地域協議会)の機能充実	代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	こども支援課		代表者会議：1回開催 研修会：1回開催	なし	継続実施
129	相談体制の充実、各相談機関のネットワーク強化	要保護児童対策地域協議会 個別ケース検討会議：61回 相談受理件数：189件	継続実施	こども支援課		要保護児童対策地域協議会 個別ケース検討会議：74回 相談受理件数：148件	なし	継続実施
130	児童虐待防止講演会の開催	1回開催	1回開催	こども支援課		1回開催	参加者の確保。	周知や開催方法の検討。
131	児童虐待防止啓発パンフレットの配布	認可保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校に14,735部配布	認可保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の全世帯配布	こども支援課		認可保育所、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校に12,779部配布	わかりやすく効果的な内容の検討。	継続実施
132	児童虐待防止オレンジリボン着用の推進	・市職員へ庁内LANにて着用の呼びかけ ・オレンジリボンツリー・オレンジリボン横断幕の設置 ・こども支援課及び各支所にてオレンジリボン配布（イトーヨーカドー釧路店及びザ・ビッグ春採店、ツルハ春採7丁目店、コーチャンフォー釧路店前にてオレンジリボン入りポケットティッシュ配布（計1,000個））	継続実施	こども支援課		・市職員へ庁内LANにて着用の呼びかけ ・オレンジリボンツリー・オレンジリボン横断幕の設置 ・PRフィッシュを各支所及び市立釧路総合病院、釧路赤十字病院等へ設置依頼 ・PRフィッシュ街頭配布（日時 11月1日 配布個数 800個 場所 コープ貝塚店、スーパーアークス鳥取大通店） ・PRフィッシュ配布市面数 1,435個	運動のより効果的なPR方法の検証。	継続実施
133	育児（養育）支援家庭訪問事業の推進	養育支援回数：852回 産後支援回数：286回	継続実施	こども支援課		養育支援回数：288件 産後支援回数：337件	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施
134	早期育児支援事業（虐待の予防と早期発見及びその啓発）	・養育に不安のある世帯に養育支援家庭訪問員を派遣 ・妊娠届出受理時に保健師が虐待、ネグレクトの早期発見。乳幼児健診・育児相談等のアンケートを糸口に子育て支援につなぐ	継続実施	こども支援課 こども育成課 健康推進課		【こども支援課】 養育に不安のある世帯に養育支援家庭訪問員を派遣 【こども育成課】 保育施設・子育て支援拠点センターと関係課とのケース会議で連携し、情報共有や見守りの実施 【健康推進課】 妊娠届出時に保健師・助産師が虐待、ネグレクトの早期発見に努めることともに、乳幼児健診や育児相談等の育児に関するアンケートを糸口に子育て支援につなぐ	【こども支援課】 課題を地える世帯への適切なアプローチ方法の検討 【こども育成課】 地域の子育て支援に係る施設とのネットワーク強化と迅速な連携体制の構築と情報提供の充実 【健康推進課】 妊娠届出時にアンケートの実施や面談を行った上で、必要時関係機関との連携を図り、虐待・ネグレクトの早期発見及び産後うつ予防に努めることが重要	【こども支援課】 養育環境改善及び虐待早期発見のための事業継続 【こども育成課・健康推進課】 関係機関と協議しながら継続実施

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
（2）生活困窮世帯、ひとり親家庭の自立支援対策の充実								
135	ひとり親家庭相談の充実	母子相談：1,721件 父子相談： 112件	継続実施	こども支援課		母子相談：1,289件 父子相談：92件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報連携を図りながら継続実施
136	ひとり親家庭就労自立支援促進事業の実施	・企業体験事業 2日開催：2人参加 ・企業説明会 1日開催：6人参加 ・お父さん・お母さんの自習室 15日開催：延べ15人参加	企業体験事業 2日開催 企業説明会 1日開催	こども支援課		就労サポート事業 ・就労セミナー1日開催：3人参加 ・企業説明会 1日開催：4人参加 ・ひとり親家庭のための自習室4日開催延べ4人参加	参加企業・参加者・利用者の確保。	開催方法の検討を行い、事業の方向性を見直す。
137	母子家庭等就業・自立支援事業（母子家庭等就業・自立支援センター）の実施	・講習会12回開催：延べ106人 ・相談件数：481件	講習会 12回開催	こども支援課		・講習会4回開催：延べ18人 ・相談件数：111件	参加者の確保。	ひとり親世帯の自立促進のため事業継続。
138	児童扶養手当の支給	現況届提出率 99.2% 受給者数：2,714人	現況届提出率 100%	こども支援課		現況届提出率 98.7% 受給者数：2,089人	周知方法の工夫。	現況届未提出者に対する督促の機会を増やす。
139	災害遺児手当等の支給	支給率 100% 災害遺児手当受給世帯：11世帯 卒業祝い金：2件	支給率 100%	こども支援課		支給率 100% 災害遺児手当受給世帯：8世帯 卒業祝い金：3件	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施
140	女性相談の充実	受理件数：275件	継続実施	こども支援課		受理件数：219件	複合的な課題を抱えた相談に対し、きめ細やかな対応が必要。	適切な相談対応と関係機関との情報連携を図りながら継続実施
141	母子寡婦福祉資金の貸付	貸付件数：39件 貸付金額：18,966千円	継続実施	こども支援課		貸付件数：44件 貸付金額：13,698千円	相談者が不利にならないよう適切な対応を行う。	適切な相談対応。
142	ひとり親家庭等の母又は父及び子に係る医療費の助成	助成対象者数：年5,356人 助成件数：37,103件 助成金額：85,856千円	継続実施	医療年金課		助成対象者数：年4,051人 助成件数：28,992件 助成金額：71,343千円	親の通院医療費助成を行っている自治体もあり、他都市の状況を把握する必要がある。	継続実施
143	生活保護を受けている母子世帯に対する自立支援	OA、介護職員初任者研修等各種資格取得・中学生支援	継続実施	社会援護課		生活保護を受けている母子世帯に対する各種資格取得支援・中学生の高校進学支援を実施した。	支援対象となる生活保護を受給している母子世帯や中学生の数が年々減少している。	生活保護を受けている母子世帯に対する各種資格取得支援・中学生の高校進学支援を継続する。
144	釧路市ひとり親家庭等日常生活支援事業	なし （令和元年度より実施）	継続実施	こども支援課		母子世帯：1世帯 父子世帯：2世帯 派遣回数：389回	必要とする世帯への多様な周知方法。	継続実施
（3）障がい児支援対策の充実								
8	障がい児保育事業の推進	—	—	こども育成課	○	—	—	—
145	児童発達支援センター運営の充実	【相談支援】地域支援相談担当 運動：48件 発達：690件 発達障害者支援担当：261件 【保護者向け研修会】 野のはな園：118人	継続実施	児童発達支援センター		【相談支援】地域支援相談係 運動：37件 発達：497件 【保護者向け研修会】 野のはな園：97人（子育て教室、講演会等） ※お菓子の配布（スマイル子育て便り 年5回発行） 【食育指針】 野のはな園（各クラス）	本人支援のほか、家族支援も継続して行い、こどもや家庭に関わる関係機関と連携を図りながら、包括的に支援することが必要である。	継続実施 障がい特性に合わせた家族支援を行う。
146	特別児童扶養手当の支給	受給者数：458人	継続実施	こども支援課		受給者数：725人	必要としている世帯への多様な周知方法。	継続実施
147	特別支援教育の充実	小学校：25校 中学校：14校	継続実施	学校指導課		小学校：25校 中学校：14校	特別支援教育の対象児童生徒は増加傾向にあるため、限られた人員や設備でどう対処していくかが課題となる。	継続実施
148	特別支援教育就学奨励費の支給	支給人員：242人 支給額：8,232千円	継続実施	学校教育課		支給人員：448人 支給額：17,869千円	対象者に対し、申請もれにより制度が受けられないことがないように周知を行う。	継続実施
149	居宅介護事業	障がい者・児 利用事業所数：33箇所 利用延べ人数：4,105人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：40箇所 利用延べ人数：3,535人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して在宅重度身体障がい児（者）等に対し、日常生活用員の給付又は貸与を行う。

No.	施策・事業	2018年度（平成30年度）実績	2024年度（令和6年度）目標	担当課	再掲	2024年度（令和6年度）実績	現状の課題等	今後の方向性
150	行動援護の支援	障がい者・児 市内事業所数：2箇所 利用延べ人数：195人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：2箇所 利用延べ人数：290人	障がい児（者）の外出や社会参加を支援するため、事業の継続が必要。	利用者のニーズに応じたサービス提供の充実に努める。
151	短期入所事業	障がい者・児 利用事業所数：19箇所 利用延べ人数：753人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 利用事業所数：27箇所 利用延べ人数：676名	重症心身障がい児・者の受け入れを行っている施設等が少なく、特に医療的ケアが必要な重症心身障がい児・者が利用できる事業所の確保が必要。	必要とするときに利用できるよう、サービス事業所との調整を通じて受け入れ体制の確保・充実を図るとともに、重度の障がいのある人に対応できるように事業所への働きかけに努める。
152	補装具の交付	障がい者・児 交付件数 462件	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 交付件数 430件	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、障がい児(者)に対して、経済負担軽減のため補装具の交付を行う。
153	日常生活用具の給付	障がい者・児 交付件数 3,404件	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 交付件数 3,435件	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して在宅重度身体障がい児（者）等に対し、日常生活用具の給付又は貸与を行う。
154	移動支援事業	障がい者・児 市内事業所数：25箇所 利用者数：39人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 市内事業所数：11箇所 利用者数：35人	障がい児（者）の外出や社会参加を支援するため、事業の継続が必要。	利用者のニーズに応じたサービス提供の充実に努める。
155	幼稚園の障がい児受入の充実	対象児：34人 補助金：1,700千円	継続実施	こども育成課		対象児：76人 補助金：4,250千円	特別な支援を必要とする児童に対する幼稚園等の支援体制の充実	継続実施
156	児童発達支援事業	市内事業所数：20箇所 利用延べ人数：2,193人	継続実施	障がい福祉課		市内事業所数：46箇所 利用延べ人数：3,409名	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実を図る。
157	放課後等デイサービス事業	市内事業所数：31箇所 利用延べ人数：5,510人	継続実施	障がい福祉課		市内事業所数：61箇所 利用延べ人数：9,285人	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実を図る。
158	日中一時支援事業	障がい者・児 市内事業所数：60箇所 利用者数：218人	継続実施	障がい福祉課		障がい者・児 市内事業所数：68箇所 利用者数：245人	障がいのある児童の増加に伴い、今後も利用者の増加がみこまれ、多様なニーズに対応できる環境や事業所の確保が必要。	地域の実情や利用者のニーズに応じたサービスの提供に努める。
159	保育所等訪問支援事業	利用事業所数：6箇所 利用延べ人数：337人	継続実施	障がい福祉課		利用事業所数：13箇所 利用延べ人数：493人	事業所は量的に充足しつつあるが、療育及び支援の質の確保が課題となっている。	障がい者自立支援協議会の教育・療育部会において、引き続き事例検討や事業所との情報交換等をおこない、サービスの支援体制の充実を図る。
160	重度障がい児（者）等交通費助成	交付人数：1,140人	継続実施	障がい福祉課		交付人数：1,032人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、重度障がい児(者)の社会参加促進のため交通費の助成を行う。
161	自立支援医療の給付（育成医療）	交付件数：33件 給付額：2,264千円	継続実施	障がい福祉課		交付件数：29件 給付額：5,384千円	対象者に対し、制度が受けられないことがないよう医療機関と連携した制度周知の継続が必要。	今後も継続して、障がい児に対して、経済的負担軽減のため自立支援医療（育成医療）を給付する。
162	障害児福祉手当の支給	交付延べ人数：1,091人	継続実施	障がい福祉課		交付延べ人数：1,011人	手帳のしおり、ホームページ等による継続した制度の周知が必要。	今後も継続して、在宅の重度障がい児に対して、経済的負担軽減のため障害児福祉手当を支給する。
163	難聴児補聴器購入等の助成	助成件数：3件	継続実施	障がい福祉課		助成件数：8件	対象者に対し、制度が受けられないことがないよう北海道釧路鶴野支援学校等と連携した制度周知の継続が必要。	今後も継続して身体障害者手帳交付対象とならない難聴児に対し、必要な補聴器の購入及び修理に対する費用の一部を助成する。
164	幼児こども相談室事業の実施	実施なし（休止） （令和元年度より委託開始）	小集団療育・幼稚園等訪問支援の実施を継続	阿寒保健福祉課		小集団開催数：50回 実人数9人/延べ人数98人 幼稚園訪問：14回 実人数12人/延べ人数40人	小集団の形成と療育の子の経験のため、一般参加を可能とし、回数・利用者は増加しているが、出生数の減少および就労家庭の増加により療育対象児は実人数2人（延べ22人）と利用は減少している。	相談機関として継続実施